

議 会

だより

No. 275
議会広報委員会

臨時会

平成26年第1回臨時会は4月2日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

原案可決

○北竜町美葉牛研修センター耐震大規模改修工事請負契約の締結について

○桜岡団地公営住宅H棟建設工事請負契約の締結について



一般質問

3月6日に開会された第1回定例会では、5名の議員から、6件の一般質問がありました。



小松議員

女性の道外研修

支援について

小松議員 北竜町の人口は2,080人で女性が1,085人と半数以上を占める中で、男性には色々な機会が道外研修に出る事は多々あるが、女性にはなかなかその機会が無い。現在「ひまわりバンク育成基金」の農村パートナリフレッシュ事業で年間40万円の予算で毎年4〜5人が道外に出ている。ただいまは米の販売PRもしている。その内容については町の広報で詳しく報告され、素晴らしい体験をしているものと感じますし、もっと多くの女性に大海を見たいなと思っている。色々な女性団体、同好会、趣味の仲間が自分たちでテーマを決めて研修する。そして町外から北竜町を見て、広い意味で良いところ、悪い所を感じてもらい、北竜町の今後の活性化にもっと女性の発想で提案いただくべきと思うが町長の考えを伺う。

佐野町長

女性は元より、多くの町民の皆さんが町づくりにおいて、先進地を視察研修する事は大変重要だと思っている。北竜町の町づくりの核となっているひまわりにおいても農協職員のヨーロッパ研修が北竜町ひまわりの原点になっている。また、ひまわりバンク事業で実施している「農村パートナリフレッシュ事業」では素晴らしい体験をしていただいている。

町では平成20年度より「地域づくり人材育成事業」を行っている。この事業は、町民



の参加と協働により地域の課題解決に向け、地域を担う人材を育成確保するために町づくりに意欲を持って取り組む事業に対し、交付金で支援するものであり、対象事業として「人材育成に関する事業」「ひまわりを核とした町づくりに関する事業」「産業振興に関する事業」「町づくりに関連したイベント事業の開催に関する事業」があり、事業費の50パーセントを交付するものである。

男性、女性に限らず様々な団体、グループが本町の活性化のために課題解決に向けて研修したいというのであれば、この事業を活用され「町民対話プロジェクト」「町長室解放デー」「広報誌」等の中で、町づくりの提案を頂き、行政、町民と共に取り組んで参りたい。

小松議員

今定例会に提案されました「北竜町新総合計画後期基本計画」の策定会議の中でも女性からの意見で、男女共同参画社会の中で、女性が自ら自

覚して参加することが無い。勉強したい事があるが、そのステージが無いという意見も出ている。後期計画の中でも「学習機会の提供や女性団体の活動支援を行い、女性の能力の向上を支援する」とある。そのようなことからもつと女性に積極的に研修に出ている

だ。行政からの提案型の研修があつても良いではないかと思う。今後、女性向けの研修を積極的に進めるよう要望する。

佐野町長

内部で充分協議して今後企画、検討する。



松永議員

高齢者に対する

政策について

松永議員

当町では65才以上の高齢者が占める割合が2月現在で40.7%になっている。また、年間平均で30人前後の方が亡くなっている。高齢者に対する手厚い政策が必要ではないか。

町内の内科、歯科はともに医療的に高い評価を得ている。もつと町民、高齢者に利用を促す政策を図るべきではないか。

永楽園、福祉センターの駐車場は手狭ではないのか、また、周囲の環境整備も必要ではないか。以上考えを伺いたい。

北竜町で特色ある高齢者事業は「ひまわりクラブ」がある。福祉センターで週4日、体操、レクリエーション、昼食、入浴等を通し健康づくり

と交流の場を提供している。また、運動機能の衰えた方に「いきいきクラブ」を開催し、特定健診、保健事業と連携しながら元気な長寿生活を過ごすための環境整備を行っている。また、委託事業として福祉バス、配食サービス、移送サービス、ヘルパー派遣事業、永楽園でのショートステイなどもある。さらに北竜温泉入浴事業、緊急通報システム事業、高齢者世帯除雪費助成事業に加え、今年度は地域公共交通の実施など高齢者に対する各種サービスを提供している。2つ目の質問の町立診療所、歯科診療所については今後とも一層の健康増進維持に寄与して頂けるように両医師



とのコミュニケーションを充実していきたい。3つ目の質問にある駐車場については、冬期間、除雪堆積により狭くなるが両施設とも面会、利用者の駐車スペースは確保しており、現時点で駐車場の拡張整備は検討していない。今後とも、高齢者施策等の充実を図っていきたい。

松永議員

永楽園で、農協の倉庫跡地に職員等の駐車場のようになっているが問題はないのか。地域公共交通に関しては高齢者に分かりやすい説明が必要である。併せて福祉バス、ヘルパー等の充実を図ってもらいたい。

高橋企画振興課長

地域公共交通は全戸へのチラシ配布、各町内会での説明会のほか、希望があれば各団体等に出向いて説明したい。

杉山永楽園園長

旧食糧事務所の跡地を厨房職員の駐車場として、利用している。



小坂議員

新規定住・雇用対策 に次の一手を

を伺いたい。

小坂議員

北竜町では安定定住に寄与

する政策は多くある。しかし、新たに他市町から北竜町に定住を呼び込むにはパワー不足である。通念的に町の人口維持・増加、さらに雇用を生む企業誘致が考えられる。そこで今、期待されるのがIT関連企業（ベンチャー企業も含む）の誘致。更には既存企業のサテライトオフィスの誘致である。幸い、本町でも一部であるが光回線が敷設され、通信環境は改善された。これら企業の地方での起業・事務所設置等メリットは地方が故に生む大きなものがあるという。この機運を踏まえ、新たな定住者を迎え、雇用の場を生むためにもこれら企業に対し、誘致への有利性を生む環境整備が急務と考える。考え

佐野町長

企業誘致による雇用・定住促進対策は土地・気候等の問題など大変厳しい状況にあり、積極的に取り組んでこなかったのが現状である。本年度、中小企業を対象に北竜町商工業元気支援応援条例として雇用面から新たな条件整備を図り、今定例会に提案している。IT企業誘致に関しては、光回線が導入されている区域が限定される。交通事情、立地場所、居住環境、募集PRなどの問題と共に他地域との差別化も図る必要がある、大変厳しい状況と思うが実態を調査するなど検討したい。

小坂議員

このような企業は規模もそ

う大きくなく、町内の空き家、空き地程度の敷地と光回線があれば良い。他より有利性のある条例等の整備が必要である。今回、提案された北竜町商工業元気支援応援条例は町内向けの内容であり、手を加

えれば内外ともに良い条例になる。検討願いたい。

佐野町長

内容等を十分調査した上で検討したい。



山本議員

サンフラワーパーク 北竜温泉の経営 について

山本議員

平成4年の開業以来、町内外多くの方々に利用され、今では町民にとつてなくてはならない施設となつているが、経営面で何う。

町からの委託料、補助金が収入の三分の一を占めており、経営の危機が感じられる。委託料、補助金ではなく特別会計として独立することにより、会計の流れも分かりやすくなり、監査の対象とするべきではないか。

理事者の考えを伺う。

佐野町長

北竜温泉の経営状況は、平成24年度決算で生じた当期純損失分14百万円を平成25年度の経営努力により、約6百万円まで減額できるものと見込まれ、残りは平成26年度において解消したいと考えている。

また、振興公社の経営状況は毎年6月議会において報告しており、北竜温泉を特別会計で処理すべきとのご意見ですが、会計処理がより煩雑になると思われます。振興公社の監査は、監査役がその任に当

たつているが、町の監査委員が振興公社の監査役に就任することも、振興公社の監査を行う事も可能である。振興公社への管理委託は、平成27年3月で3年間の委託期間が切れます。そのため、本年度中に公募をかけ、指定管理者選

定委員会の中で選定基準を総合的に審査し、最も適当と思われる団体を候補として選定し、議会の議決により指定する事となっています。健全経営と町にとつて無くてはならない施設としての価値の両面からも更に、検討しなければならぬと考えておりますのでご理解をいただきたい。

山本議員

具体的に申し上げますと平成23年度の収入決算約2億円のうち委託料が64百万円、赤字額が13百万円と収入の約40%を占め、更に修理費等で5百万円支出している。今後、修理費等が増える中で振興公社による温泉経営は至難ではないか。又、温泉の経営内容は6月に提出されるだけに予算特別委員会で十分な審議が

出来ないなど、特別会計として独立して監査対象にすべきと思う。また、振興公社の社長は町長が兼務していることも理解し難い。運営自体は、支配人が責任者であるが公社役員にもなっていない。特別会計としてオープンにして経営すべきと思うが再度、考えを聞きたい。

佐野町長

多額な金額であると思うが、当施設があることよって15名の正職員、アルバイト35名、他委託者含め55名が働いており、約94百万円の人件費が支払われている。大きな雇用の場として商業振興に寄与しており、更に普通交付税の算定は国調人口で決められるだけに財政面でも大きな役割を成している。更に健康、福祉等トータルでご判断いただきたい。

新しい管理者を見つけたいと思うが、当面は公募をせず、公社で運営管理をして行きたい。支配人の役員としての位置付けは今後検討したい。



佐光議員

サンフラワーパーク 周辺環境整備 について

佐光議員

北竜温泉は町民にとってもなくてはならない施設となっているが、温泉経営が苦戦している中で内部だけでなく、外に向けても大胆な環境整備の時期に来ていると思う。何か具体的に提言をします。

- 一、今ある直売所前（東国道側）に人を引き寄せる、建物自体が広告塔的役割となるカフェのような軽食堂の建設（特産品米を主として地元野菜や漬物での田舎料理、食材は隣の直売所のPRも兼ねる）
- 二、現在ある円形トイレが直売所の景観を遮断し、冬の除排雪の面からも勇気ある撤去をすべき。
- 三、原型むき出しのガス分離塔に案内看板をまとめ、周辺は何もなくシンプルにする。
- 四、町内外の親子が楽しめる

- 遊園地化。子供の喜ぶ水もあ
- り、ゴーカート等遊具の充実を図る。（現にある各地の児童公園は雪の堆積場となるだけに遊具をここに集約する）
- 五、温泉くひまわりの里までの遊歩道（周遊出来るウォーキング・サイクリング等）整備。

佐野町長

サンフラワーパークは開業から23年が経過し、まず、直売所が見づらいことから新年度で広告看板の予算を計上した。地元農産物を使った飲食の提供については今後、関係者や利用者の意見を聞きながら検討したい。次に、円形トイレを撤去し、新たに作るには多額な経費がかかり費用対効果など調査が必要だと思います。遊歩道については、既存



売上げにつながっているが、本町は本館から離れており、殆ど町外者がトイレだけの利用で終わっている。しかも一番良い場所に立っているだけに背後にある施設（直売所）を遮り、冬の除雪や駐車にも支障をきたしている。今ある施設の壁一枚はがせば本館のトイレにつながると思いますが町長の考えを伺います。

佐野町長

この場所には夏期間多くのキャンピングカー等が集まり、トイレ等を利用しているだけに無くすわけにはいかない。いずれにしても大規模改修等の中で検討して参りたい。

佐光議員

当施設は今や町民にとつても町にとつても無くてはならない施設だけに、単に利益追求の企業民営化が良いのか、あくまでも町民みんなが株主のように総セールスマンとなつて、この施設を愛し、守り育てるかが問われるところに来ていることを申し上げ質問を終わります。

佐光議員

例えばトイレはこの「道の駅」も本館施設の中にあつて、その折に買物や食事等

小松議員

防犯・交通安全対策について

小松議員

町長の行政執行方針の中で「町民の防犯意識の一層の高揚と地域ぐるみの防犯体制の強化に努める」とある。

昨年、一昨年と町内で燃料、さらにはタイヤ等の盗難事件が発生し、いずれも未解決のままと思う。

近年、大都市ではきめ細かく防犯カメラが設置され、大変大きな効果を挙げている。北竜町も国道交差点、各支路線の出入り口に防犯カメラの設置、さらに街路灯の設置については議会と町内会長の懇談会、子ども議会の中でも



要望があつたところであるが、このことよつて犯罪のけん制、交通事故の抑制にも繋がると思うが町長の考えを伺う。

佐野町長

今年3月7日に北竜町の交通事故死ゼロが2,500日を達成した。このことは交通安全に携わる多くの皆さん、町民の皆さんの努力のおかげと感謝している。新たな目標である3,000日は来年の7月となる。

昨年、一昨年と町内で燃料やタイヤの盗難が発生した事件については、空知、留萌管内でホームタンク、重機の燃料を盗んでいた犯人3人が、今年2月に滝川署に逮捕され、現在取調べが進んでいる。近年、無差別の殺傷事件や連続通り魔事件など事件に関

係の無い市民が巻き込まれる事件が多発しており、犯人捜査に防犯カメラの映像が良く利用されている。

街頭防犯カメラの設置が犯罪の抑止効果が有るとするものと、画像の解析度が悪い事他にも望ましくない効果が出るとして評価は分かれている。

国道や幹線道路など屋外で監視する防犯カメラの設置費や設置場所の占用許可、画像情報を集積するための通信費や個人情報管理など費用と課題が多くあり、町内での設置は考えていない。

また、街路灯の不足や夜間暗いという町民からの意見は聞いている。今後、設置する街路灯の種類や設置方法によつては、町内会に電気代等の一部負担をお願いする場合もある。地区別の配置状況を年内に調査し対応する。

小松議員

国道、幹線道路へのカメラの設置は難しいとのことであるが、私はやはり、車の出入りを監視することで防犯、さらには有事の際には大きな効

果が出ると思っている。もう少し時間をかけて検討願う。また、街路灯についてもいち

早く地域の要望に添えていただくよう願う。

議員コラム

本格的な春の訪れとともに農作業が始まった。

以前の議員コラムの中でも書かせて頂いたが、いよいよ農事組合法人「ほのか」が正式に発足しスタートを切った。

水稻を主に大豆、そば、メロン、小麦、ひまわりの作付と本年は所得減少を補うためにインゲンの栽培も取り入れ、受託作業も含めて約125haの面積を10代から60代までの構成員、家族、従業員、研修生合わせて22名での作業である。

作業時は各圃場にバラバラになつているが、休憩時は一ヶ所に集まる（現在4月中旬温床ハウス作業中）ので、やかましいぐらいの賑やかさである。

今年若い研修生N君と、作業受託をしているS君が加わつたので平均年齢も下がり仕事も捗つているようであるが、けっこう忙しい。

本来、農業というのは家族経営が基本なのであるが、諸々の事情により法人経営を選択した私どもにとつて、もう後戻りはできないわけであり、決して間違つてはいなかったという結果を出すことが求められている。

順調な舟出をした法人が、家族の健やかな幸せと地域農業の発展のために少しでも寄与できれば、設立した価値もあるのではないかと思う今日この頃である。

(板垣)

平成26年度予算に向けた定例会での取り組み

北竜町議会では政務調査・決算審査・各団体との懇談会の中で寄せられたご意見を予算審査において以下のように対応しています。

年 月 日	調査・懇談会名	視察内容・ご意見、要望	定 例 議 会 で の 対 応
平成25年6月12日	町内政務調査	町内公有施設の全調査	1年間の議会活動の基礎となっています。
平成25年8月下旬	道内政務調査	鶴居村：「最も美しい村連合」の取組について	北竜町の加盟は認可されなかったが、今後ともひまわりを核とするまちづくりを協議していきます。
		上土幌町：町総合計画のあり方について	本会議に議案として北竜町新総合計画後期基本計画を審議・可決しました。
平成25年12月12日	決算審査特別委員会	診療所会計について	歯科診療所について今議会においては新たな提案はされなかったが継続して審議します。
平成26年1月17日	町内会長との懇談会において出された意見に対して	Aコープ店舗の存廃について	予算審査の中で質疑をし、理事者からも検討を始める旨の答弁を得ました。
		街路灯・視線誘導柱・防雪柵の設置について	予算審査の中で質疑をし、調査をして対応策を講じるとの答弁を得ました。
		若者の定住と産業振興と雇用対策について	一般質問をしました。継続して審議していきます。
		高齢者住宅の建設について	公営住宅建設計画に基づき年次計画の中で実施します。予算審査の中で質疑をしました。
		農業の雇用と町内雇用の為の奨学金について	一般質問をしました。議会政策としても継続して協議します。
平成26年2月21日	議会報告会において出された意見に対して	消防団員の確保について	予算審査の中で協議しました。継続して協議します。
		ひまわりの観光施策について	一般質問をしました。観光協会のあり方などを協議していきます。
		北竜振興公社(サワワーパーク)について	一般質問・予算審査質疑をしました。課題解決のため継続して審議します。
		子どもの教育環境について	予算審査の中で質疑をしました。子育て環境も含めて継続して審議します。
		道路の除排雪について	予算審査の中で質疑をしました。常任委員会等で審議していきます。
		ひまわりバンク育成基金について	一般質問をしました。前向きな答弁を得ました。

※平成25年12月12日のこども議会(小学生)で出された意見に対しては理事者の理解のもと逐次実施していきます。

議員の賛否の公表 (平成26年3月)

北竜町議会基本条例に基づき、議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する議員の態度を公表します。

平成26年第1回定例会	○：賛成 △：意見付与して賛成 □：修正を求め賛成 ×：反対 ー：賛否無し							
議 案 件 名 (主なものについて記載しました)	小松正美	佐光 勉	小坂一行	山本剛嗣	板垣義一	松永 毅	澤田正人	佐々木康宏
北竜町新総合計画後期基本計画について	○	○	○	○	○	○	○	ー
北竜町税条例の一部改正について(消費増税によるもの)	○	○	○	○	○	○	○	ー
北竜町商工業元気支援応援条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	ー
北竜町定住促進奨励金等の交付に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	ー
北竜町サワワーパークの設置及び管理に関する条例の一部改正について	○	△	○	○	○	△	○	ー
北竜町スクールバス運行に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	ー
公の施設に係る指定管理者の指定について(観光施設・社会体育施設)	○	○	○	○	○	○	○	ー
平成25年度北竜町一般会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	欠	ー
平成25年度北竜町特別会計補正予算について	○	○	○	○	○	○	欠	ー
予算審査特別委員会(山本委員長・小坂副委員長)								
平成26年度北竜町一般会計予算について	○	○	○	ー	○	○	欠	○
生活交通対策負担金について	○	○	○	ー	○	△	欠	○
ふるさと納税寄付者への対応について	○	△	△	ー	○	○	欠	○
和保育所の職員給与について	○	○	○	ー	△	○	欠	○
ひまわりバンク育成基金について	△	○	○	ー	○	○	欠	○
商工業元気支援応援条例に関して	○	○	○	ー	○	○	欠	△
除雪・排雪について	○	△	○	ー	○	△	欠	△
社会体育・教育施設の現状について	○	△	○	ー	○	○	欠	□
平成26年度北竜町特別会計予算について	○	○	○	ー	○	○	欠	○
国民健康保険特別会計	○	○	△	ー	○	○	欠	○
介護保険特別会計	○	○	△	ー	○	○	欠	○
予算委員会における質疑の件数	質疑2件	質疑7件	質疑6件	ー	質疑3件	質疑6件		質疑4件
本会議における質疑の件数	質疑1件	質疑1件	質疑0件	質疑2件	質疑0件	質疑1件		ー

※佐々木議員は議長のため採決には加わっていません。山本議員は委員長のため採決には加わっていません。澤田議員は入院加療のため審議に加わっていません。